



学校だより 9月号

横浜市立日下小学校 令和4年 9月1日

夢に向かって ともに歩み 未来を拓く 日下小

日下小学校 ホームページURL

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hishita>

夏休みを終えて

校長 皆川 誠

暑い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

39日間の長い休みが終わり、子どもたちの元気な声が戻ってきました。本校でも、夏休み直前になって、新型コロナウイルスへの感染者が急増しました。また、神奈川県内の新規感染者も初めて1万人を超えるなど、「今年も、行動制限が課せられた夏休みになってしまうのか」と心配していましたが、特に規制はなかったのも、感染予防に留意しながらではあったと思いますが、昨年よりは、夏休みを楽しむことができたのではないのでしょうか。

私にとって、日下小での最初の夏休み。心に残ったことをお伝えしたいと思います。

夏休み前の7月、2年生は、生活科の学習で日下ケアプラザの佐藤様をお招きし、ケアプラザの役割や活動についてお話を伺いました。コロナ禍の影響もあり、普段あまりかかわりがなかった子どもたちは、興味深げに話を聞いていました。ケアプラザの佐藤様も、これを機に、「子どもたちもっとかかわりを深めたい」、「日下のまちのよさを知って、もっと好きになってもらいたい」という思いから、本校の2年生を対象にした「もじあつめウォークラリー」を計画してくださいました。

それは、学区の中にある6つの店舗にご協力いただき、それぞれのお店に貼ってある文字を見つけ、その6つの文字を並びかえて一つの言葉にするものでした。私も参加させていただき、ご協力のお礼も兼ねて各店舗に出かけました。集めた文字からできた言葉は、「えがおのまち」でした。どのお店の方々も、文字を見つけに子どもたちが来るのを楽しみにしてくれているのを感じ、日下のまちは、まさに「えがおのまち」であることを再認識しました。

日下小学校は、「横浜一あいさつの上手な学校」を目指しています。本校の児童や職員、保護者並びに地域の皆様が、「笑顔であいさつを交わすことのできる」日下のまちづくりの一役を担うことができたらと、この夏休みに改めて考えさせられた「もじあつめウォークラリー」でした。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

まだまだ暑い日が続きます。学校では、新型コロナウイルスとともに熱中症にも留意して、児童の健康管理に努めてまいります。保護者の皆様や地域の皆様、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。